

ネパール地震の被災地支援に ご協力をお願いします。

2015年4月25日11時56分（日本時間15時11分）にネパール中部を震源としたM7.8の地震が発生しました。被害はネパール国内だけでなく、インドやチベット自治区、バングラデシュなどの周辺国でも報告されています。またこの地震によってヒマラヤ山系で雪崩が発生し、それによる被害も出ています。阪神・淡路大震災を機に立ち上がった、CODE 海外災害援助市民センターは56回目の救援活動を開始します。ネパールの被災地へのご支援をよろしくお願ひします。

CODEでは5月3日から14日までネパールにスタッフを派遣し、今後の救援プロジェクトに向けた調査を行いました。現地での調査の中で、テントで暮らす被災者に迫る雨期、耐震を考えた再建、農村と都市の格差などの多くの課題が見つかりました。これらの課題を踏まえ、今後の支援の方向性として、まだ支援の届いていない山間地域への雨期対策のテント提供やネパール伝統建築を活かした耐震住宅再建などの復興支援を行っていく予定です。

《被害状況》

ネパール

- ・死者8,650人
 - ・損壊家屋50万戸以上
 - ・負傷者1万4000人以上
- (5月25日ネパール政府発表)

周辺国

- ・死者134人
(インド、チベット自治区、
バングラデシュ)
- ・被災者800万人以上 (5月25日時点)

《被災地からの声》

- ・40代男性（Solukhumbu郡Gudel村）
「余震で被害がさらに大きくなった。一番近い町から歩いて3日という場所にある村には支援がまだ来ていない。」
- ・30～40代男性（Dhading郡Salyantar村）
「すぐに雨期がやってくる。家がないのでシェルターが必要。村には地面にヒビが入っている場所もあるため雨による地滑りも不安。」



地震で大きく損壊した家屋（CODE撮影）

ご寄付の振込先

【郵便振替】00930-0-330579 加入者名：CODE

【ゆうちょ銀行】〇九九支店（店番099）当座0330579 名義：CODE

【クレジットカード】<https://www.code-jp.org/cooperation/index.html> からご利用いただけます。

※通信欄に支援先（例：ネパール地震）と明記してください。

※クレジット決済ページ備考欄に支援先（例：ネパール地震）と明記してください。

※募金全体の25%を上限として事務局運営・管理費に充てさせていただきます。

ご寄付以外にも、ネパールとのつながりのある方、ネパールに詳しい方、英語・ネパール語などの翻訳・通訳、事務のお手伝いをしていただける方など、ボランティアを大募集しています。

CODE 海外災害援助市民センター

〒652-0801 神戸市兵庫区中道通2-1-10

TEL: 078-578-7744 FAX: 078-574-0702

HP: <http://www.code-jp.org/> E-mail: info@code-jp.org

FACEBOOK: <https://www.facebook.com/NGO.CODE>

